

目 次

1 運 営

1.1 沿革・組織機構	1
1.2 職員の構成	2
1.3 職員一覧表	2
1.4 施設及び主要備品	3
1.5 学会・研修等	5
1.6 調査研究に対する外部評価	7

2 業 務 実 績

2.1 微生物科学部	8
2.2 生活化学部	11
2.3 大気科学部	14
2.4 水質科学部	18

3 調 査 研 究

3.1 報 文

1) 熊本県で主に眼疾患から検出されたアデノウイルスの分子疫学解析 (2008年度～2013年度)	21
2) 健康危機に対応した加工食品中の農薬迅速分析法の検討	30
3) 多地点同時テープろ紙成分分析による PM2.5 高濃度事例解析 ー全国初の注意喚起事例を対象にー	41
4) 有機フッ素化合物 (PFCs) と直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩 (LAS) の同時分析法の開発及び農薬分析への適用性の評価	50

3.2 資 料

1) 感染症発生動向調査に伴う病原体検査 (平成 25 年度)	58
2) 日本脳炎調査 (2013 年)	64
3) 農産物の部位別農薬残留濃度の調査	68
4) 化学物質等を原因とする健康危機管理対応試験検査の事例 (2008～2014 年)	70
5) 熊本県内における放射能調査 (平成 25 年度)	77
6) 熊本県の酸性雨長期モニタリング調査結果 (2013 年度) ー県内 4 地点における降水試料調査結果ー	82
7) 熊本県における九州新幹線鉄道の騒音調査	88
8) 環境基準未達成河川 (合志川) の水質調査結果	93
9) 八代海流入河川の難分解性有機物	98
10) 熊本市東部及び上益城地域の湧水における重金属成分の分布	101

3.3 誌上発表論文抄録	108
3.4 調査, 研究報告抄録	112
3.5 学会・研究会発表抄録	115